

こんにちは 森林官です!

上川南部森林管理署
幾寅森林事務所
(幾寅・トマム担当区)
首席森林官
奥川 勘介



○森林事務所の所在地



十勝との境目 狩勝峠
(南富良野町側から十勝平野)

幾寅森林事務所は上川総合振興局管内の南部に位置する南富良野町に所在し、落合森林事務所、金山森林事務所との合同森林事務所になっています。

担当する国有林は、南富良野町の幾寅担当区(約7千ヘクタール)と占冠村のトマム担当区(約1万3千ヘクタール)で、南富良野町と占冠村の2つの自治体と関わる森林事務所です。

この地域は、四方を大雪山系や日高山脈などの山々に囲まれています。

占冠村にはレクリエーションの森として選定されている「石勝高原トマムスキー場」野外スポーツ地域があり、雄大な自然と新鮮な空気に浸り、スキー・スノーボードなどのスポーツ

のほか、山頂からの山岳景観や雲海等を楽しむことができ、全国的に名の知られた観光地となっています。また、南富良野町・占冠村ともに空知川や鷓川といった河川の最上流部に位置しているため、ラフティングなどの四季を感じられる自然体験型観光でも注目されている地域です。



石勝高原トマム山スキー場
(占冠村)

○管轄区域の概要

当管内においても主伐期を迎えた人工林が増加傾向にあり、将来の複層林化を目指した施策が実施されています。また、造林事業の低コスト化を目的としたコンテナ苗の低密度植栽やクラッシュヤ地拵などの試験的な施策も実施し、現地検討会等を通じて、地域林業関係者等への情報提供に努め

ています。

このほか、トマムの国有林は太平洋に流れ込む鷓川の源流部であるため、「お魚を殖やす森づくり」と称した植樹祭が毎年開催(昨年は台風被害のため中止)されており、山の中で遠い海との関係性を感じるイベントとなっています。



お魚を殖やす森づくり
(占冠村)



クラッシュヤ地拵現地検討会
(占冠村)

○台風被害の復旧

南富良野町では平成28年8月の台風により空知川が

氾濫し、大きな被害を受けました。特に町内にある金山ダムより上流の地域では、約1年2ヶ月が経過した現在でも多くの場所が被災した痕跡が残っております。

国有林内でも山の斜面が崩れたり、林道にかかる橋が流されるなどの多大な被害を受けました。このため山腹崩壊を防いだり、渓流の浸食を防止する大規模な治山工事を行うとともに、決壊した林道や流失した橋の工事を実施しており、着実に復旧を進めているところです。

これからも国有林を管理する中で、森林の公益性機能を最大限に発揮し、地元の活性化にもつながるよう地域に貢献していきたいです。



コンテナ苗低密度植栽
(南富良野町)
※現在まで無下刈